



電気工事(接地工事)に関するご協力のお願い

電気工事において、接地の取付は非常に重要です!!

目的

人等に対する感電の防止

漏電による火災を防止

保護装置(漏電遮断器
漏電警報器)を
確実に動作させる

接地の取付は電気設備技術基準に定められております。

適切に取り付けできていないと、お客さまや現場作業員の方の感電災害、

または漏電による建物等の火災につながる恐れがあります。



外構工事完了前に作業着手できるよう、ご配慮願います

接地極の取付工事は



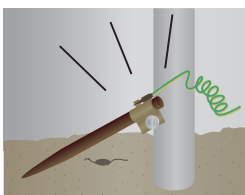
約1m四方の
スペースで
実施可能です。



60分程度の
作業時間で
終了します。



不具合が発生したら、ご連絡をお願いいたします



こんな時はご連絡ください

- 外れているのを見かけたら…
- 万が一、切断してしまったら…

連絡先

接地工事が出来ていないと どうなるの？

身近にある接地(アース)

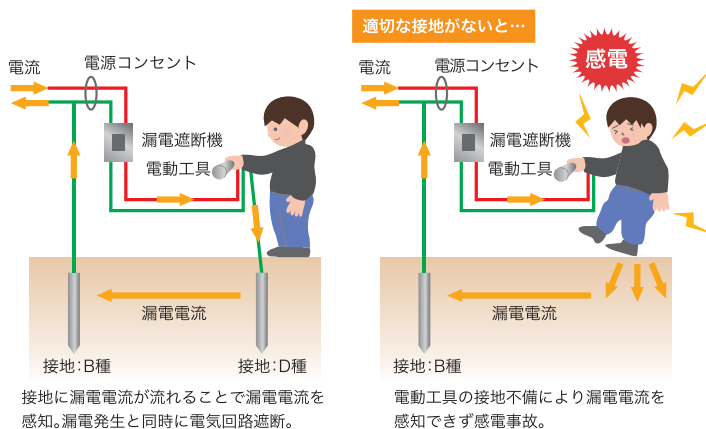
身近な例は、洗濯機や電子レンジなど家電製品についている緑色の接地線(アース線)と金属棒があります。これらは感電防止のために設けられている保安用接地(保護接地)です。電気製品に漏電や基準を超える電圧がかかった時、そこに接地が無いと電気製品が壊れたり、ひどい時には火災を招いたり死亡に至るケースさえあります。接地は、いざという時に私たちを守ってくれる重要な役目を果たします。



保安用接地(保護接地)の役割

漏電遮断器と接地

最近の一般的な電気回路には、漏電が発生したことを感知して電気回路を遮断するための“漏電遮断器”が取り付けられています。しかし、漏電遮断器があるからといって安全とは限りません。漏電遮断器は、接地があることで初めて正常に動作し、感電事故を未然に防ぐことが可能となります。漏電遮断器があるから感電しない、接地があれば感電しないという訳ではありません。両方が健全であることで、初めて安全が保たれることになります。



接地に漏電電流が流れることで漏電電流を感知。漏電発生と同時に電気回路遮断。

電動工具の接地不備により漏電電流を感知できず感電事故。

感電事故は使用機器の

設置不良により、

お客さまに重大な災害が

発生しております。



平成24年5月 感電死事故

食器洗浄機から発煙し、被災者が内部を覗きこんだところ、腹部より感電し死亡した。食器洗浄機より漏電が生じており、食器洗浄機のコンセントプラグからつながる接地線が断線していたため、被災者の身体を通じて漏電電流が大地に流れた。なお、漏電遮断器については未設置であった。

安全な電気設備の構築のために、接地工事について
ご理解とご協力をお願いいたします。